

# 発表事項

1 令和2事業年度前期高齢者関係等特別会計予算、事業計画及び資金計画

## **2 令和2事業年度医療機関等情報化補助関係特別会計予算、事業計画及び資金計画**

3 令和2事業年度社会保障・税番号制度会計事業計画及び予算

4 「令和元事業年度特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等支給関係特別会計予算、事業計画及び資金計画の変更」の認可

5 令和元年台風19号に伴う被災医療機関の概算請求に係る確定状況等

6 令和2年1月審査分の審査状況

7 令和2年3月審査分の特別審査委員会取扱状況

8 令和元年度第11期（2月）分の後期高齢者支援金等収納状況

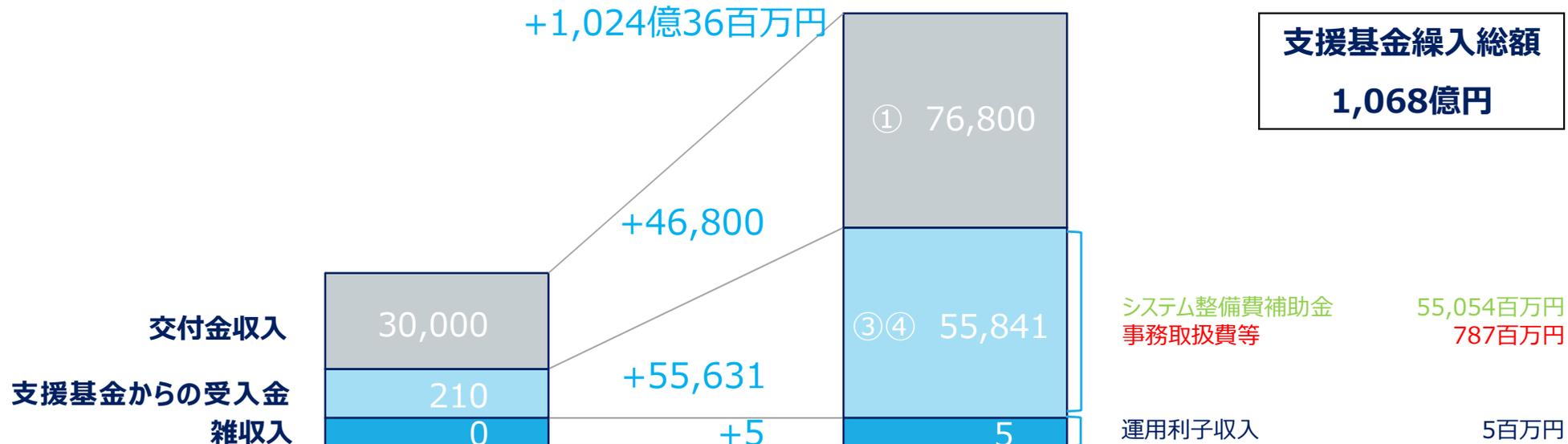
# 医療機関等情報化補助関係特別会計 医療情報化支援基金勘定予算

単位：百万円

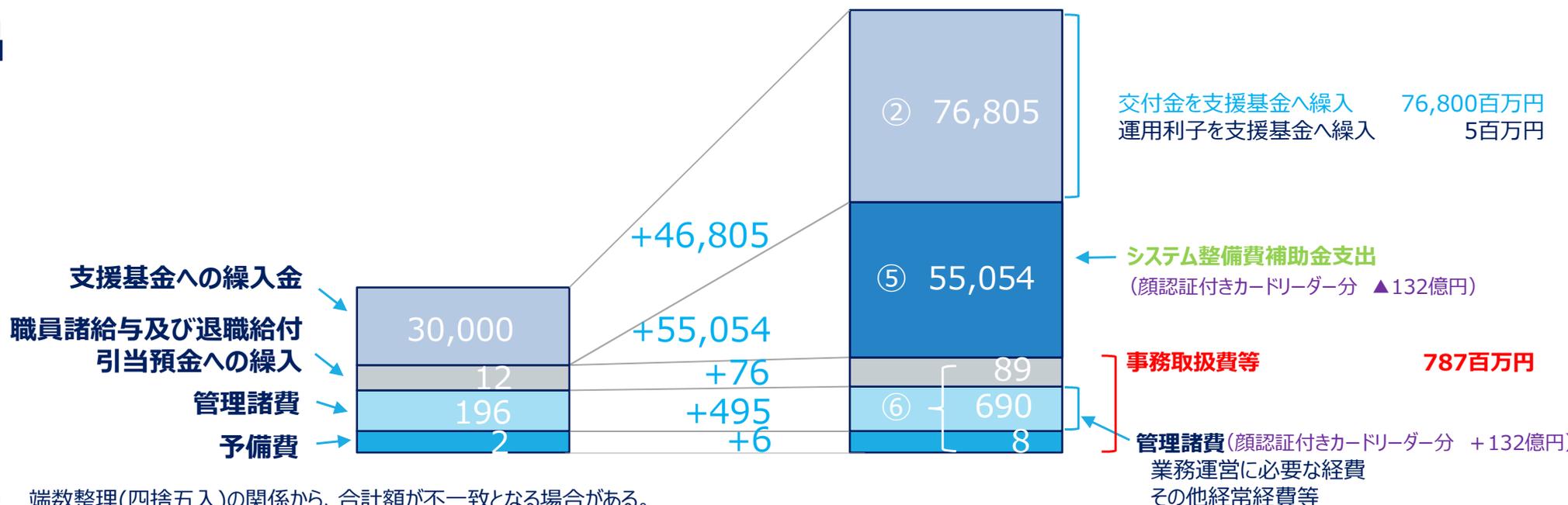
令和元事業年度  
302億10百万円

令和2事業年度  
1,326億46百万円

## 収入



## 支出



(注) 端数整理(四捨五入)の関係から、合計額が不一致となる場合がある。

## (参考資料) 支援基金繰入総額1,068億円に対し、1,326億円の収支予算となることについて

- 本特別会計は、医療情報化支援基金勘定のみでの単一勘定であるが、支援基金本体、医療機関等への補助金及び事務取扱費（職員諸給与等、管理諸費）を区分して管理することができるよう3つ（支援基金用、決済用（補助金用）、事務費用）の口座を設置しており、勘定内の各口座間で資金の移動が行われる。
- 具体的な資金の流れとしては、
  - ①国からの交付金を決済用口座に受入（768億円）
  - ②受け入れた交付金を決済用口座から支援基金用口座へ資金移動（768億円）
  - ③補助金の支出に充てるため支援基金用口座から決済用口座に資金移動（550.5億円）
  - ④事務取扱費の支出に充てるため支援基金用口座から事務費用口座に資金移動（7.9億円）
  - ⑤決済用口座から医療機関等への補助金を支出（550.5億円）
  - ⑥事務費用口座から事業者、職員等への事務取扱費を支出（7.9億円）
 となるが、会計処理上、各口座間で収入・支出を計上する必要があるため③と⑤及び④と⑥については、ダブルカウントされることとなり、その結果、収支予算が1,326億円となるものである。

